

# 数学の勉強法

## 授業の受け方

- (1) 学習用具をそろえて授業にのぞむ。(教科書・ノート・ニュートン Jr・ファイルなど)
- (2) 教師の説明や友達の発表は、考え方や解き方の説明なので、書くのを止め、**聞く**(理解する)ことに集中する。
- (3) 板書は大切なことなので、必ずノートに書く。丸写しではなく、工夫してノートをとろう。
- (4) 練習問題は、できるだけ自力で解くようにする。そのとき、計算過程を省かずに丁寧に書くことが「確かな理解」につながる。
- (5) わからないところをそのままにせず、積極的に先生に質問して理解できるよう心がける。
- (6) 自力で解けた場合でも、模範解答があれば比較し、より良い解法を身につけるようにする。また、一つの考えで満足せず、他にも解法がないかを考える習慣をつける。

## 家庭学習の仕方

- (1) まず、教科書でその日に学習した範囲をひととおり読み返してみる。
- (2) その範囲の例題を、説明の部分をかくして自力でやってみる。  
スラスラできた人 → 例題の下にある問題を解いてみる。  
できなかった人 → 例題の説明をよく読み、わかったら、もう一度、説明部分をかくして自力でやってみる。
- (3) **問題を解いたら、必ず答え合わせをする。** その場合、間違えた問題や難しかった問題に印をつけておけば、自分の弱点もわかり、テスト勉強のときなどに役立つ。
- (4) どうしても自力で解けない問題は、解答をよく読んでから、自分で解いているつもりで解答を写す。その後、すぐに類似問題にチャレンジしてできるかどうか確認する。
- (5) 次時に習うと思われる教科書のページに目を通し、内容を確認しておくこと、授業が理解しやすくなる。



## テスト勉強の仕方

- (1) 数学のもっとも効果的なテスト対策は、教科書やプリント、ニュートン Jr などの試験範囲になっている問題を解いて、何も見なくても自力で解けるようにしておくこと。
- (2) 教科書やノート、プリントなどを、ただ目で追って「ああそうだった、こうして解いたんだ」という確認だけでは十分ではない。必ず、実際に問題を解くこと！
- (3) 間違えた問題、わからなかった問題は繰り返し解いておく。

## 受験勉強の仕方

- (1) 出題範囲は教科書に限られ、全学年の全分野から出題されるので、日頃の学習の積み重ねがとても大切である。
- (2) 基本的な問題が多いので、過去問や標準問題集を何度も反復練習することが効果的である。
- (3) 過去5年間の問題をこなせば、入試問題の傾向がわかり、一通りの対策はできる。「沖縄県最近5年間入試問題」は必携である。
- (4) 過去問をやるときは、入試本番を意識して時間を計り、解答順や一問題にかかる時間配分を考えながら解く訓練をする。

